

令和6年度
【リスタ和歌山スポーツクラブ設立準備委員会 活動報告】

1. 活動報告

・開催イベント一覧

・参加者数

2. 反省点・改善点

3. 会計報告

○ 収入・支出内訳

○ 残高

4. 来年度の計画案

5. 参加者アンケートの集計結果

6. 来年度の活動方針・規約改正

・来年度にむけて

1. 活動報告

河北スポーツクラブ設立準備委員会 会議開催履歴(2024-2025年度)

	開催日	開催場所
第1回	2024年5月27日(月)	河北コミュニティセンター
第2回	2024年6月10日(月)	河北コミュニティセンター
第3回	2024年7月8日(月)	河北コミュニティセンター
第4回	2024年8月10日(土)	河北コミュニティセンター
第5回	2024年9月9日(月)	オンライン(LINEグループ通話)
第6回	2024年10月7日(月)	河北コミュニティセンター
第7回	2024年11月11日(月)	河西コミュニティセンター
第8回	2024年12月9日(月)	河西コミュニティセンター
第9回	2025年1月20日(月)	河北コミュニティセンター
第10回	2025年2月10日(月)	河北コミュニティセンター
第11回	2025年3月17日(月)	河北コミュニティセンター

河北スポーツクラブ設立準備委員会 部会開催履歴(2024年-2025年)

	開催日	開催場所	内容
第1回	2024年6月20日	和歌山市中之島1551(木下宅)	第1回フェスティバルのルール作成
第2回	2024年6月29日	島橋(池田寝装店にて)	自治会館使用について、島橋5丁目副会長と協議
第3回	2024年7月15日	河北コミュニティセンター	ビッグバレーの布作成について
第4回	2024年11月5日	河北コミュニティセンター	モルック教室・大会の準備

河北スポーツフェスティバル(2024-2025)

2024年度は、河北スポーツフェスティバルを計4回（うち1回は中止）、加えてモルック教室を1回開催しました。各イベントの詳細は以下のとおりです。

	開催日	開催場所	内容	参加者数
第1回	2024年6月23日	市民スポーツ広場 陸上競技場（雨天：野崎西小学校体育館）	ドリブル教室、ドリブル競走、ピン球遊び、しっぽ取り、ドッジボール	低学年30名、高学年16名
第2回	2024年7月28日	和歌山市民体育館（アリーナ）	ビッグバレー、卓球、ソフトバレー、ドッジボール、モルック体験	91名（子供58名、大人33名）
モルック教室	2024年11月24日	河西緩衝緑地 野球場	初心者向けモルック体験	25名（子供14名、大人11名）
第3回	2024年11月30日	河西緩衝緑地 野球場	モルック大会	24名
第4回	2025年1月19日	市民スポーツ広場 球技場（中止）	モルック大会	-

【最終まとめ】

2024年度の河北スポーツフェスティバルは、第1回から第3回までの計3回の開催と、モルック教室を成功させることができました。第4回は残念ながら中止となりましたが、全体として多くの参加者にスポーツを楽しんでもらう機会を提供できました。

各回の募集定員やターゲット層に大きなズレはなく、計画通りのイベント運営ができたことから、成功といえる1年だったと考えられます。

反省点として、会場予約の遅れや広報の課題、当日の進行やスタッフ配置の問題がありましたが、次年度は早めの準備や事前の広報強化を図り、よりスムーズな運営を目指します。

また、モルックの視察ができなかった点についても、次年度はしっかり計画し、運営の質を高める機会とします。

和歌山市のPTAがモルックを盛んに取り組んでいるという話もあるので、そういったものを参考に視察なども今後考えていきたい。

今後も、地域の子供や保護者が気軽にスポーツを楽しめる場として、河北スポーツフェスティバルを継続し、より充実したイベント運営を目指していきます。

2. 反省点・改善点

★ 会場予約の遅れによる周知の遅れ

- 1ヶ月前の予約制度により日時の決定が遅れ、広報活動がギリギリになった。
- 改善策: 予約が取れるタイミングを事前に把握し、早期確定・広報を実施。

★ 悪天候による開催場所変更への対応

- 第1回イベントでは雨天による会場変更が発生し、案内がバタバタした。
- 改善策: 事前に予備会場を確保し、変更時の連絡手段を明確化。

★ チラシ配布や広報の範囲

- 第2回では河北中学校区と貴志小学校区のためのチラシ配布だったため、他地域への周知が弱かった。
- 改善策: 地域センターやSNSを活用し、広範囲へ情報を届ける。

★ 参加者のバランス

- 第1回は低学年が多く、高学年の参加が少なめだった。
- 改善策: 高学年向けの競技や対戦型の要素を増やす。

★ 備品の準備と管理

- 必要備品の準備がギリギリになることがあった。
- 改善策: 事前に備品リストを作成し、早めにチェックを行う。

★ イベントの進行管理

- 一部のプログラムが予定より早く終わったり、逆に押したりすることがあった。
- 改善策: 進行スケジュールに余裕を持たせ、役割分担を明確にする。

★ ボランティアやスタッフの確保

- 運営スタッフが不足し、負担が偏る場面があった。
- 改善策: 事前に役割を決め、追加のボランティアを募集する。

★ モルックの視察ができなかった

- モルック大会の運営向上のため、他団体の視察を予定していたが、実施できなかった。
- 改善策: 次年度は事前に視察スケジュールを組み、計画的に実施する。

3. 会計報告

2024年度の会計について、以下の通り報告いたします。

詳細な収支内訳は別紙「2024年度会計収支簿」にて添付しております。

- 助成金収入（TOTOスポーツ振興くじ助成金）を活用し、会場使用料、備品購入、広報費、運営費等に充当しました。
- 参加費やその他収入も含めて、年間を通じて健全な財政運営を行うことができました。
- 年度末残高についても適正に管理しております。

【2024年度 会計監査確認書】

上記の2024年度収支簿に関して、会計監査を行い、
適正であることを確認しました。

日付： R7 年 3 月 01 日

監査者氏名： 芝本和己



※収支簿は提出用別紙にて記録し、監査済です。詳細は別紙収支簿をご参照ください。

確認書類：提出収支簿、領収書ファイル、口座コピー、報告書

4. 来年度の計画案

★ 継続開催するイベント・教室の計画

★ 陸上（走り方）教室、バレーボール教室の継続開催

- 月1～2回の開催を目標とする。

★ 「ゆるスポ。」の導入

- 他世代・他種目が体験できる空間の提供を目的とし、参加者が気軽に運動を楽しめる機会を増やす。

★ 河北スポーツフェスティバルの定期開催

- 今年度と同様に、年間を通じたスポーツイベントを企画し、地域のスポーツ振興を推進する。
- 準備委員会の備品管理

★ 所有備品:

- ビブス、ソフトバレーボール、ビッグバレーボール、卓球ラケット、ピン球、ドッジボール、ミニゴール、メディシンボール（今年度は開催できず）、モルック

★ 次年度使用する物品の保管場所:

- 事務所下倉庫に収納済み。
- 新しい取り組みの提案

★ 「ゆるスポ。」の試験的導入

- 他世代交流を促し、多様なスポーツ体験を提供する場をつくる。
- 初心者でも参加しやすいルール設定を工夫する。

★ 新たな種目への挑戦

- Tボール（子ども向け野球の入門スポーツ）に挑戦し、未経験者でも楽しめる環境を整える。
- 大人向けフットサルの試験的導入についても意見があり、ニーズを探りながら実施の可能性を検討する。
- その他の種目にも試験的に挑戦し、参加者の反応を見ながら継続の可否を判断する。
-

5. アンケート結果の考察と今後の課題

▶ アンケート結果の全体的な評価

- どのイベントも高評価・好印象だった。
- 参加者からは「楽しかった」「また参加したい」といったポジティブな意見が多く寄せられた。

▶ モルックに関する課題

- 準備委員会としては祖父母世代の参加を期待していたが、実際の参加はゼロだった。
- 今後の改善点:

祖父母世代への周知方法を見直し、ターゲットに合った広報手段を検討する。（例：地域の集まりや高齢者向けのイベントで告知）

家族で一緒に楽しめる仕組みを強化する。（例：親子・三世代対抗戦など）

競技自体の認知度を高める活動を行う。（例：デモンストレーションや体験会の実施）

▶ スポーツクラブ助成（TOTO助成金）の意義

- TOTOの助成を通じて、「スポーツクラブ助成」とは何かを改めて深く理解する機会となった。
- 参加者の意識として、以下のような意見が多く見られた:
- 「1つの競技を極めたい人もいるが、いろんなスポーツに触れてみたい」
- 「苦手でも家族や友達となら参加しやすい」
- 「スポーツが得意じゃなくても、気軽に体験できる場があるのがいい」

▶ 新しいニーズの発見

- お弁当持参で運動会のように楽しみたいという声もあった。

今後は「スポーツ×レクリエーション」のような形で、運動会の要素を取り入れたイベントの企画を検討するのもいいかもしれません。

6. 来年度の活動方針・規約改正

- 来年度の活動方針（別紙配布）
- 規約改正・役員交代（棚田さんを委員から外す）